

学習したことを生かして

「モチモチの木」

齋藤

隆介

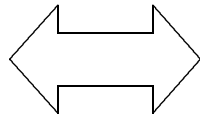
めあて

昼間と夜の豆太の様子を読み取る

豆太

- 昼
- ・「やい、木い、モチモチの木い、実い落とせえ」
 - ・木の下に立って
 - ・かた足で足ぶみして
 - ・いばってさいそくする

- 夜
- ・夜になるともうだめなんだ
 - ・木がおこって、両手で、「お化けえ」っておどかす
 - ・モチモチの木を見ただけで、もっ、しょんべんなんか出なくなっちゃまう



実際のモチモチの木

でっかいでっかい木
茶色いびかびか光った実をいっぱいふり落としてくれる
実で作ったモチは、ほっぺたが落ちこちるほどうまい

さいごの一文

でも、豆太はそうしなくちゃだめなんだ。

4 / 16 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

豆太が昼間と夜とではモチモチの木に対する態度が違つことを、豆太の言動やまわりの様子をあらわす言葉に着目しながら、想像豊かに読み取ることができる。

1 夜の豆太の様子を振り返る。

2 「やい、木い」の場面を音読する。

初発の感想からめあてにつなげるようにする。

3 豆太の言った言葉から昼と夜の豆太の違いを考える。

【発問】豆太の様子や気持ちに分かる言葉を抜き出しましょう。

抜き出した後に、「豆太の昼の気持ちや様子には」「夜の気持ちや様子には」「を付けさせる。

【発問】昼間の豆太と夜の豆太はどんな違いがあるのでしょうか。

『「やい、木い、モチモチの木い、実い落とせえ。」なんて、昼間は木の下に立って、かた足で足ぶみして、いばってさいそくしたりする』と『木がおこって、両手で、「お化けえ。」って、上からおどかすんだ。』の二文から豆太の昼間と夜の様子の違いを考えさせる。

自分の考えをワークシートにまとめる。
まとめた考えをグループや全体で交流する。

4 実際のモチモチの木について読み取る。

実際のモチモチの木と豆太の心の中のモチモチの木を比べさせたり、最後の一文に着目させたりすることで、豆太がおくびようであることを確認させる。

5 本時のまとめとして、「やい、木い」の場面で心に残ったことや思ったことを付せんに書き、ワークシートに貼っておく。

評価 昼間と夜の豆太の態度の違いを読み取ることができる。